

# 30社133拠点に拡大

エコスタッフ・ジャパン

設立5周年で達成 安心安全の全国ネット

廃棄物処理・リサイクルに係る安心安全の全国ネットワーク化を進めるエコスタッフ・ジャパン(東京・中央、田部和生社長、☎03・5201・392



6)は、設立5周年で東北から九州・沖縄まで全国30社133拠点(昨年12月現在)にまで認定企業を広げた。認定企業全体の取引先企業(排出事業者)の合計は6万8701社以上、総売上高773億円、総従業員数29

64人、総車両保有台数1478台、総ドライバーク数1086人になった。田部社長は「皆さんの力で5周年を迎えられた。設立当初に立ち返って、事業に取り組みたい」としている。

ど厳正な審査を経て認定された廃棄物処理業者が参画している。これまで顧客満足と企業経営、近隣住民とのコミュニケーション、社内教育と人材育成、接遇とマナー、クレーム対応をテーマに大手自動車販売会社や航空会社の実務担当者を招いてマネージャレベ

ルの研修を行った。ドライバークについてはヤマト運輸グループのヤマト・スタッフ・サプライ、セールス・営業については有力処理業の敏腕営業マンを講師に招き、実務研修を実施。独自のマニュアルを作成し、これに基づいた試験を行うことも予定している。

1月24日に東京都内で行ったレセプションでは、細田衛士慶應義塾大学経済学部教授と

の間で意見交換を行った。東北エリアの認定企業からは「焼却施設や最終処分場は、リサイクルが進んでも必要な施設と言われるが、当面の運営にはコストがかかる」との課題が

あげられ、「景気低迷は確かに頭が痛い。ただ、世界的にみればアジアを中心に経済は成長している。当面は何とか我慢することだ」とのコメントがあった。

「点と点をつなぐ」ことを目指す

法令順守な